

最上地区の高校教育の在り方について

報告書 概要版

平成 23 年 6 月
最上地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会

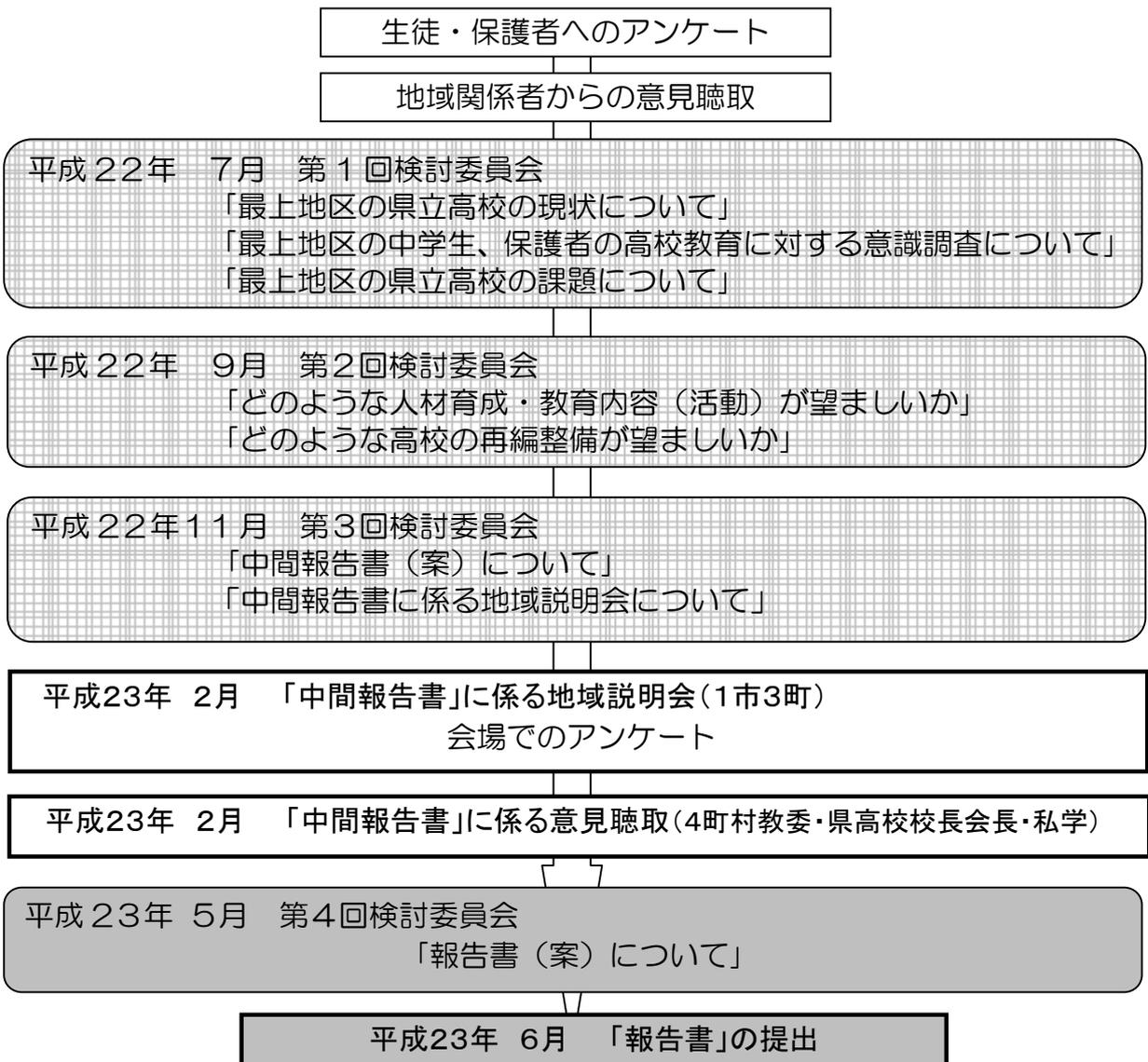
検討委員会の概要

最上地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会は、平成 22 年 7 月 23 日に、県教育委員会教育長から検討の依頼を受け、新しい時代を切り拓く最上地区の高校教育の在り方について、さまざまな視点から検討を重ねてきました。

このたび、中間報告書に係る地域説明会、中間報告書に係る意見聴取を実施し、いただいた意見も参考しながら議論を深め、「報告書」として取りまとめました。

今後、「報告書」の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもたちに対し望ましい教育環境が整備されることを期待しております。

◇検討委員会の検討経過



最上地区の現状と課題について

- いずれの高校でも入学定員を下回る状況が起きており、今後 10 年間で概ね 25%の中学校卒業生数の減少が見込まれることから、中長期的な展望に立ち、将来を見据えた検討が必要である。
- 地区内の公立高校に 8 割以上の生徒が進学していることから、この地区に多様な選択を保障する教育内容や学科・コース等の配置が必要である。
- 部活動後の時間帯になると利用できない路線があることや、冬期間は自転車での通学が困難になることなどから、自家用車による送迎に頼らざるを得ない状況にあり、交通事情や交通体系の整備状況を踏まえた再編整備が必要である。
- 夜間定時制に通学するのが困難な町村が多く、就学機会の保障や学び直しの場の確保といった観点から、定時制課程の在り方について検討が必要である。
- 今後も公私が連携を図り、それぞれが特色ある学校づくりを推進し、本地区内の高校教育の充実向上に努めることが大切である。

どのような人材育成、教育内容(活動)が望ましいか

社会の一員として求められる資質や能力を備えた人材の育成

- 社会常識がきちんと身に付いており、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と社会性を備えた人
- 高い規範意識を持ち、自律的で責任ある行動がとれる人
- 自他の個性や価値を尊重する心を持ち、望ましい人間関係を形成できる人

将来に向け夢や目標を持てる人材の育成

- 社会の変化に主体的かつ柔軟に対応できるしなやかさとたくましさ兼ね備えた人
- 現状を打破して新しいものを作り出す創造性や独創性に富む人
- ものごとに対して果敢にチャレンジできる精神を備えている人

社会の要請に応え地域を支える人材の育成

- 奉仕の精神を持ち、他者や社会に対して率先して寄与しようとする人
- 地域に愛着を持ち、地域づくりのために自主的に参画しようとする人
- 地域や社会の課題を自分自身のものとして捉え、その解決を図るために積極的に行動しようとする人

<望まれる教育内容(活動)>

- 知識・技能の習得と主体的に学び、考え、判断し、表現し、行動する力を育む教育
- 生徒一人ひとりが個性や能力を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む教育
- 社会・職業への円滑な移行に必要な力を養うキャリア教育
- 自己実現を図り、地域社会の形成者としての資質を養う教育

どのような再編整備が望ましいか

中長期的には2校又は3校への再編整備が望ましい

< 2校配置の場合 >

A 校

少人数指導等を展開し、四年制大学への進学指導の充実を図る普通科

B 校

- 社会の変化や産業の動向に対応したスペシャリストを育成する専門学科
- 多様な学習ニーズに対応する総合学科

◇ 上記に加えて定時制を設置する

< 3校配置の場合 >

A 校

少人数指導等を展開し、四年制大学への進学指導の充実を図る普通科

B 校

社会の変化や産業の動向に対応したスペシャリストを育成する専門学科

C 校

多様な学習ニーズに対応し、幅広い進路実現を図る総合学科もしくは普通科

◇ 上記に加えて定時制を設置する

多様な学科・コース等を配置する。また、定時制を設置し学び直しの場を確保する。

再編整備の進め方について

- この先も見込まれる中学校卒業生数の著しい減少に適切に対応し、本地区内の高校教育の活力維持を図るため、2校又は3校への再編整備を速やかに進める。
- 最上地区の場合、地理的な問題もあり、各高校が連携・交流することは容易でなく、学校の小規模化が一層進むことも懸念されるため、1学年2～3学級規模の学校には、積極的にキャンパス制を導入しない。ただし、1学年1学級規模となった場合は、キャンパス制により教育環境の改善を図る。

〔キャンパス制〕1学年1～3学級の高校が、将来の統合を視野に、地域の協力の下、近隣の高校と連携・交流することにより、適正規模の高校に準じた教育環境を確保する制度。

県への要望

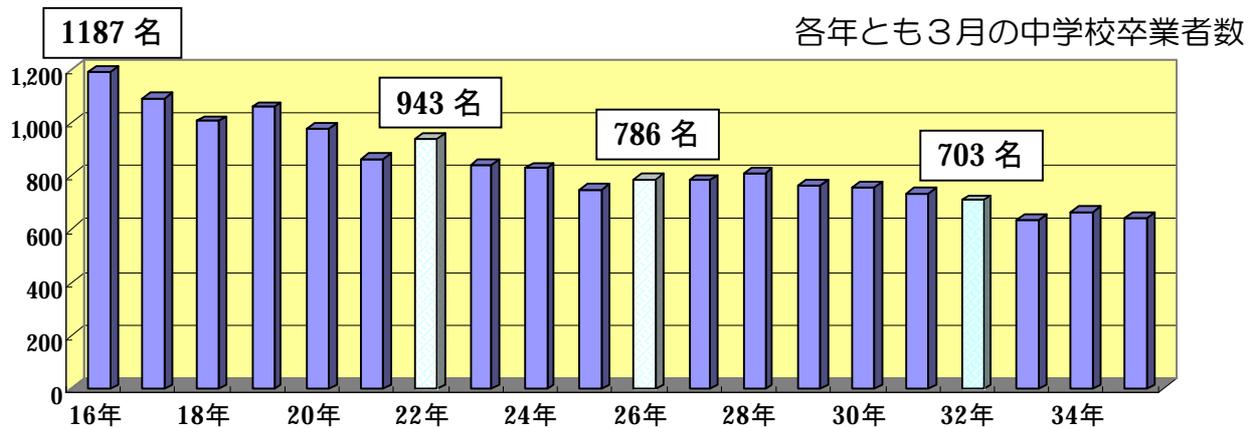
- キャンパス制の導入時期や統廃合の実施時期などの見通しを示し、小中学生及び保護者が将来の学校選択などについて展望できるようにする。
- 県と地元自治体が連携を図りながら、生徒の通学手段の確保について検討する。

〔参考〕

最上地区各校の設置学科と学級数（入学定員）＜平成22年度＞



最上地区の中学校卒業(予定)者数の推移

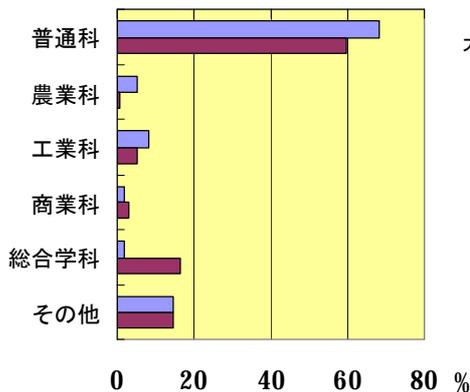


＜最上地区全体の学級数＞

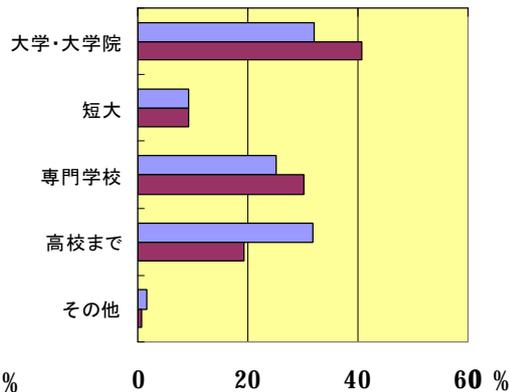


最上地区の中学校3年生及び中学校1年生の保護者の意識

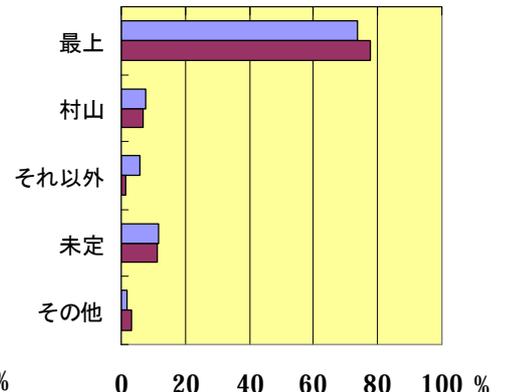
＜希望する学科＞



＜将来の進路希望＞



＜進学希望高校の所在地＞



■ 中学校3年生 ■ 中学校1年生の保護者

ご意見・お問い合わせ 山形県教育庁高校教育課 高校改革推進室

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 TEL 023(630)2493 FAX 023(630)2774

E-mail ykokokaikaku@pref.yamagata.jp

※ 最上地区の県立高校の再編整備に係る情報については、山形県のホームページ (<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoi/ku/700013/>) でご覧になれます。